

DATA in 九州

今月の注目データ

今月から、九州の特徴的なデータをご紹介します。

今月は「福岡県内におけるタクシー台数の推移」と「福岡市内における屋台軒数の推移」です。



タクシー台数 福岡県

検索



屋台軒数 福岡市

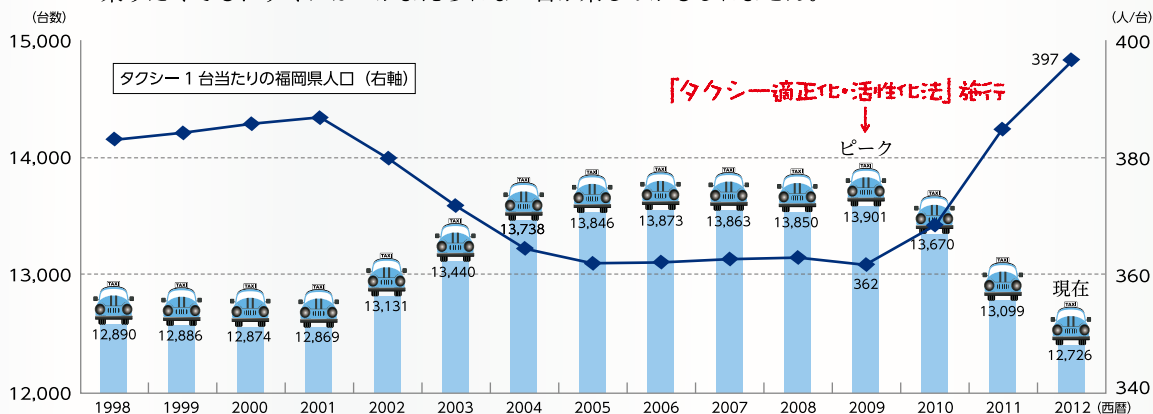
検索





福岡県内における「タクシー台数」の推移

東京の有楽町を走るタクシー営業が大正元年に始まってから、8月でちょうど100年になりました。今回は景気の実態を示すとも言われるタクシーの台数に注目します。緩やかながら戦後最長の景気拡大を記録した「いざなぎ景気（2002年2月～07年10月）」では、規制緩和の影響もあり福岡県内のタクシー台数は増加しました（ピークは09年の14,000台弱）。しかし、規制緩和は過当競争を招き、更にリーマンショック以降の景気低迷もあって、タクシーの日車営業収入（実働1日1車当りの運送収入）が急減する等、業界全体は厳しい環境に置られました。こうした過当競争による非効率化をなくすため、09年（平成21年）10月にタクシー適正化・活性化法が施行され、12年（平成24年）3月末現在では、再び13,000台を切る水準まで減少しました。タクシーに乗りたくても、すぐにはつかまえない日が来るのかもしれないかもしれません。



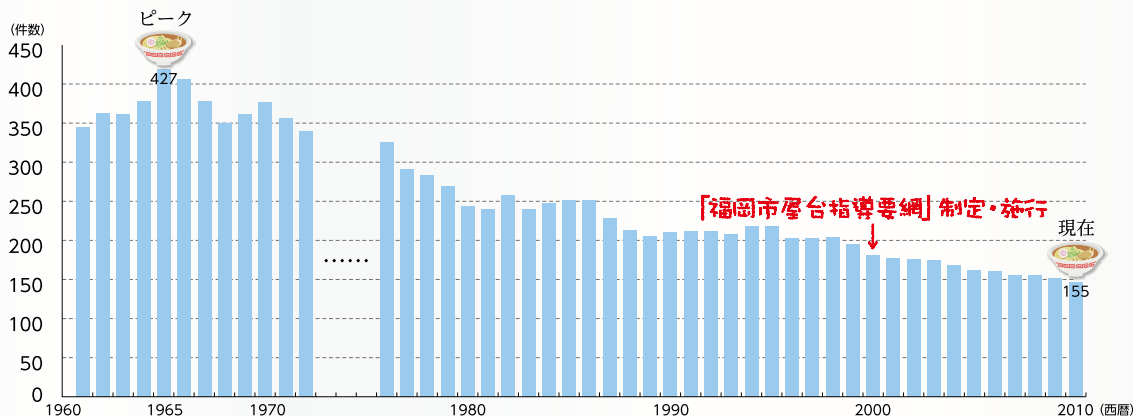
(出所：福岡県および国土交通省九州運輸局資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



福岡市内における「屋台軒数」の推移

福岡・博多の風物詩と言えば、屋台。終戦後の混乱期に生まれ、ピーク時（1965年）には、福岡市内で427軒もの店が軒を連ねました。しかし、高度成長とともに飽食の時代を迎え、また、衛生面や道路使用許可に関する規制導入により、減少の一途を辿りました。2000年（平成12年）に「福岡市屋台指導要綱」が制定・施行され、設置場所の条件や営業時間・料金表の明示、設置場所の清掃等の規定が設けられてからは、更に減少。2010年（平成22年）3月末現在155軒となっています。

年々その数を減らしていく屋台。福岡・博多の街の賑わいを保つためにも、屋台は貴重な観光資源となっています。



※食品衛生法に基づく営業許可数（1973年～1975年は記録がない）（出所：屋台との共生のあり方研究会資料）

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

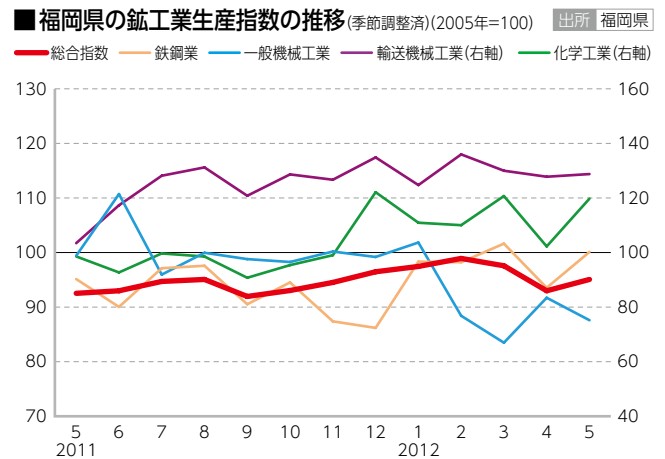
生産活動は、医薬品が増産となった化学が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額が、主力の衣料品や飲食料品が低調となる等、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。住宅建設は、「貸家」や「分譲」が前年比大幅に増加する等、好調に推移しています。

1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに上昇

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.0となり前月比2.0%上昇しました。

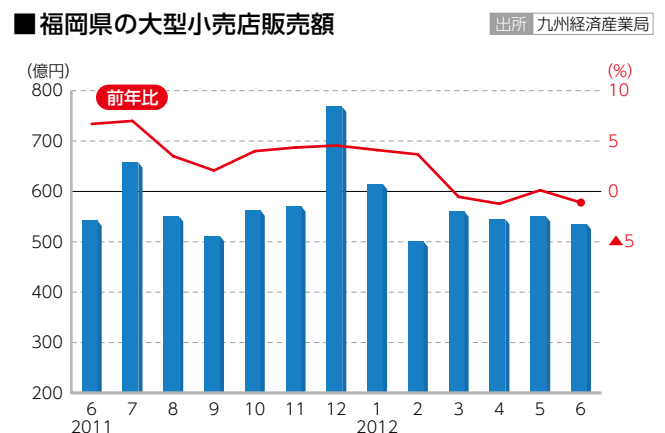
主要業種では、前月に一部工場で定期メンテナンスがあった鉄鋼が反動増となった他、医薬品が増産となった化学が上昇。一方、クレーン、産業用ロボットが減産となった一般機械が低下しました。



2.大型小売店 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

6月の大型小売店販売額は、前年同月比1.1%減の536億円で、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

主力の衣料品や飲食料品が振るわなかった他、家電が前年の地デジ対応特需の反動により大幅減となりました。



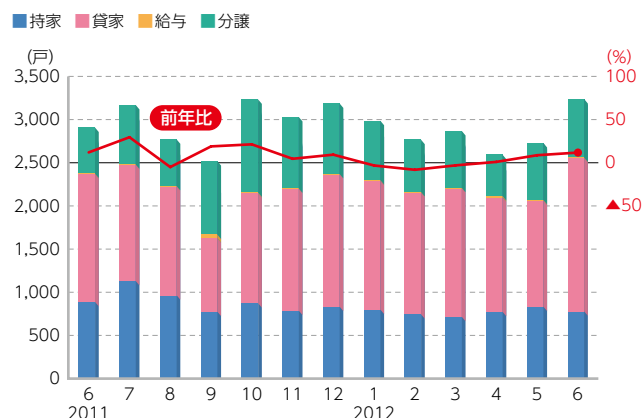
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、3,237戸と前年同月比11.7%増加し、3ヵ月連続で前年を上回りました。

「持家」は前年を下回ったものの、消費増税を意識した先行投資等から、建売住宅・分譲マンション等の「分譲」が前年比大幅増加しており、好調な着工が続いています。アパート等の「貸家」でも、前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



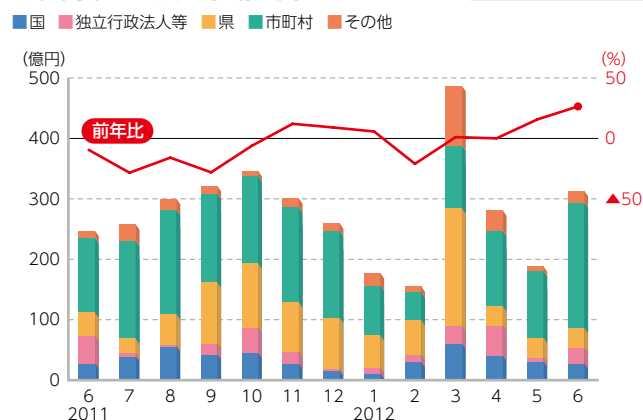
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比18.9%増の698件、金額は同26.8%増の313億円となり、請負金額は4ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、東九州自動車道等の大型案件が一段落した「独立行政法人等」が前年比で減少した一方、「市町村」、「その他」は前年比増加しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



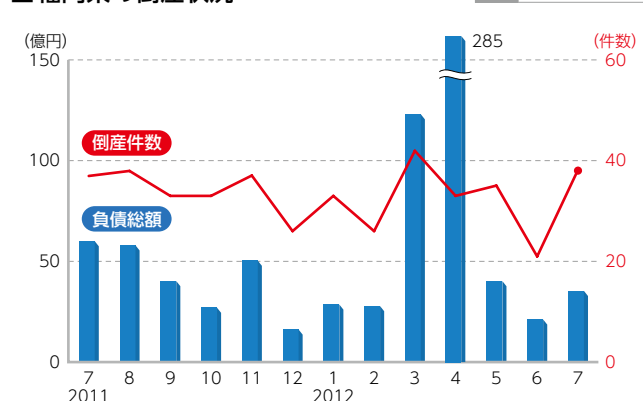
5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比2.7%増の38件、負債総額が同41.1%減の約35億円となりました。

建設業を中心に小口の倒産が相次ぎましたが、大型倒産の発生が少なかったことから負債総額は前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

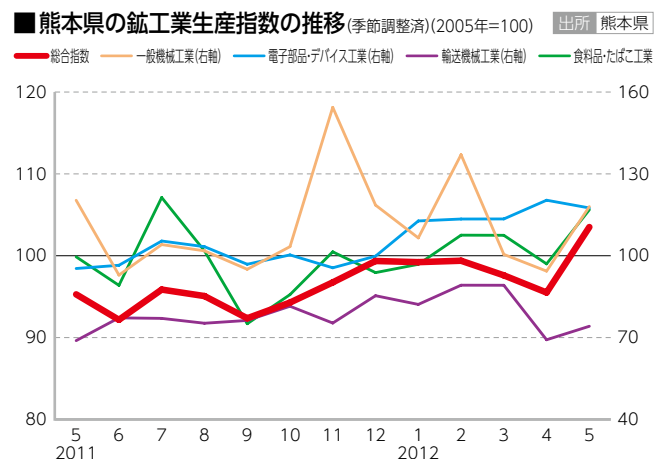
生産活動は、産業用ロボットが増産となった一般機械や、飲料が増産となった食料品・たばこが上昇しており、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額が、高額商品に動きがあった他、新店舗開店効果により前年を上回っています。住宅建設は、分譲マンションが在庫調整の進展により好調なことから、前年並みを維持しています。

1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに上昇

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は103.6となり、前月比8.3%上昇しました。

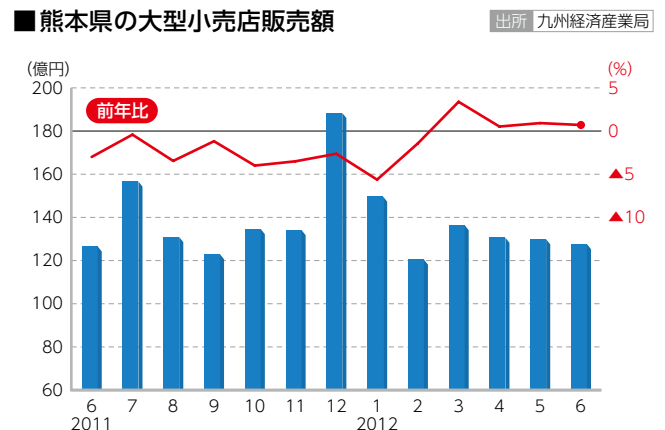
主要業種では、電子部品・デバイスや輸送機械は、ほぼ前月並みの水準で推移した一方、産業用ロボットが増産となった一般機械や、飲料が増産となった食料品・たばこが上昇しました。



2.大型小売店 | 4ヵ月連続で前年を上回る

6月の大型小売店販売額は、前年同月比0.7%増の128億円と、4ヵ月連続で前年を上回りました。

衣料品が低調だったものの、高額商品に動きがあった他、昨年7月のスーパー開店効果もあって飲食料品が増加する等、全体としては前年を上回っています。



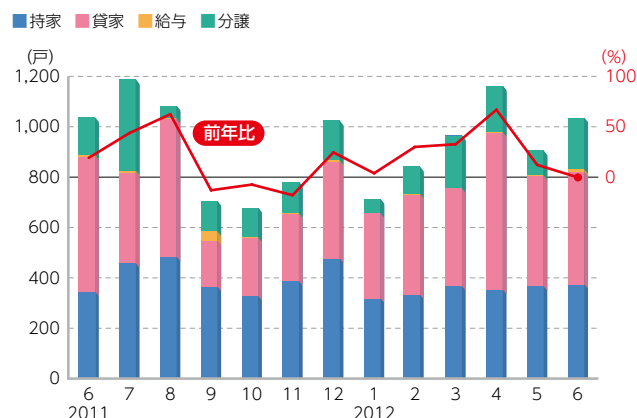
3.住宅建設 | 7ヵ月ぶりに前年を下回る

6月の新設住宅着工戸数は、1,036戸と前年同月比0.2%減少し、7ヵ月ぶりに前年を下回りました。

「貸家」が前年比減少するも、「分譲」がマンションの在庫調整進展により好調なことから、全体では、前年並みの着工戸数となりました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



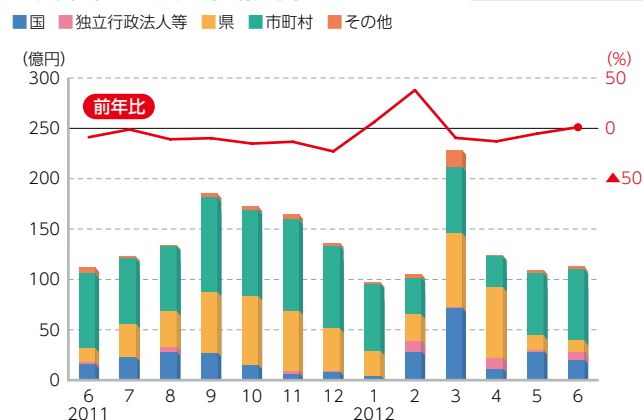
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比12.0%増の372件、金額は同0.8%増の113億円となり、請負金額は4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、「県」、「市町村」が前年比減少した一方、九州自動車道等の大型案件のあった「独立行政法人等」が前年比増加しました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比53.8%減の6件、負債総額は同81.9%減の約6億円となりました。

卸売業で約2億円の倒産があったものの、件数、負債総額ともに前年を下回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

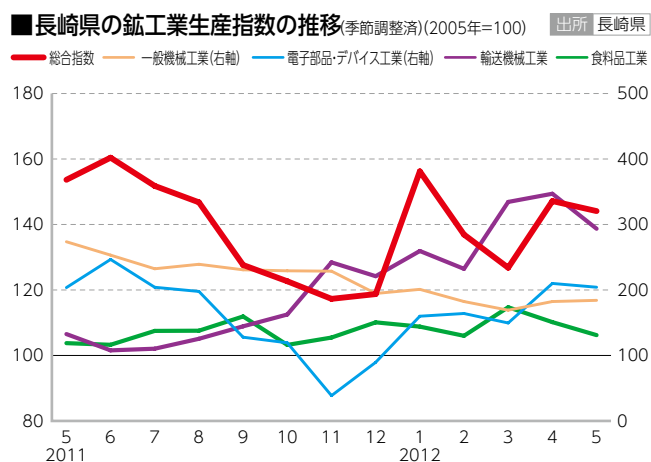
生産活動は、新造船が減産となった輸送機械が前月から低下したものの、依然高操業を維持しており、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額が、去年の大型百貨店閉店の影響が続いており、11ヵ月連続で前年を下回っています。住宅建設は、長崎市中心部の分譲マンションが好調な他、「持家」や「貸家」でも前年を上回る等、緩やかな持ち直しの動きがみられます。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は144.4となり、前月比2.0%低下しました。

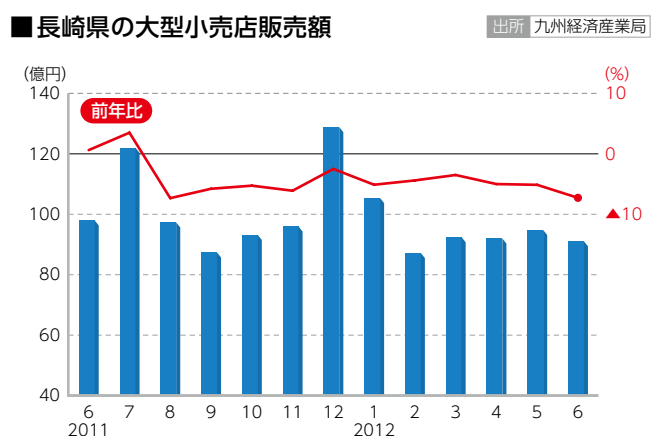
主要業種では、新造船が減産となった輸送機械や、アルコールの生産が減少した食料品、シリコンウエハが減産となった電子部品・デバイスが低下。一般機械は、ほぼ前月並みで推移しました。



2.大型小売店 | 11ヶ月連続で前年を下回る

6月の大型小売店販売額は、前年同月比7.2%減の91億円と、11ヵ月連続で前年を下回りました。

昨年7月末の百貨店閉店の影響が大きく、衣料品を中心に全般的に低調に推移しています。





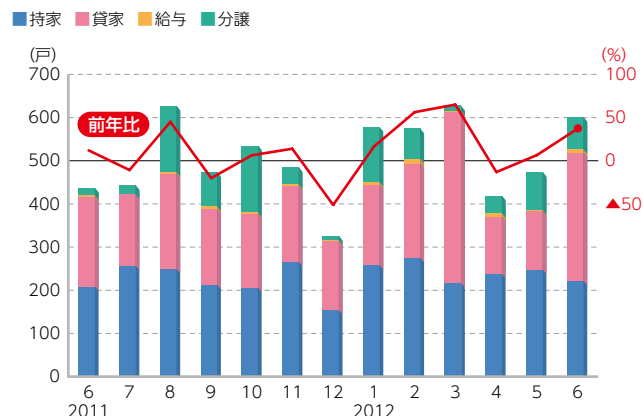
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、601戸と前年同月比37.5%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。

消費増税を意識した先行投資等から、長崎市中心部の分譲マンションが好調な他、「持家」「貸家」でも前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



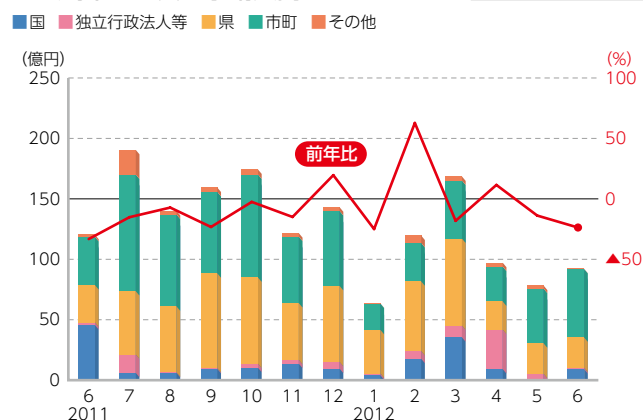
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比6.0%減の284件、金額は同23.5%減の92億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、工業団地造成等の大型案件のあった「市町」が前年比増加した一方、「国」、「独立行政法人等」、「県」では前年比減少しました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



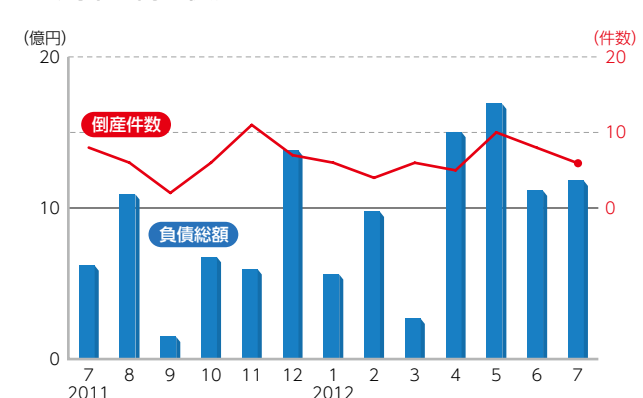
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の6件、負債総額が同90.9%増の約12億円となりました。

建設業で約5億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いているものの一部に減速傾向が見られる

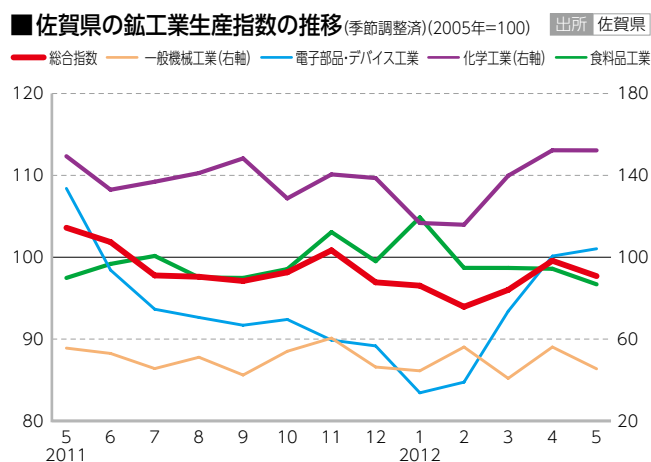
生産活動は、電子部品・デバイスがわずかに上昇し、緩やかな持ち直しの動きが続いているものの、一般機械や食料品が低下する等、一部に減速傾向が見られます。

消費面では、大型小売店販売額が、昨年6月のスーパー閉店の影響が続いており、11ヵ月連続で前年を下回りました。住宅建設は、アパート等の「貸家」は前年を上回りました。

1. 生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに低下

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.8となり、前月比1.8%低下しました。

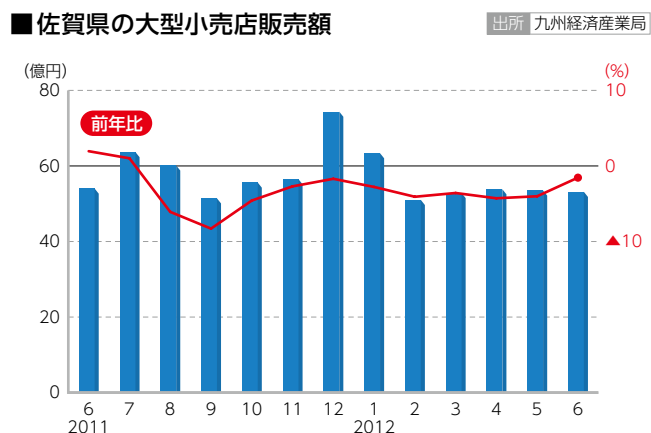
主要業種では、電子部品・デバイスがわずかに上昇したものの、一般機械や食料品が低下し、総合指数は前月比でマイナスとなりました。



2. 大型小売店 | 11ヵ月連続で前年を下回る

6月の大型小売店販売額は、前年同月比1.5%減の53億円と、11ヵ月連続で前年を下回りました。

昨年6月のスーパー閉店の影響が続いている他、家電が前年の地デジ対応特需の反動により大幅減となりました。





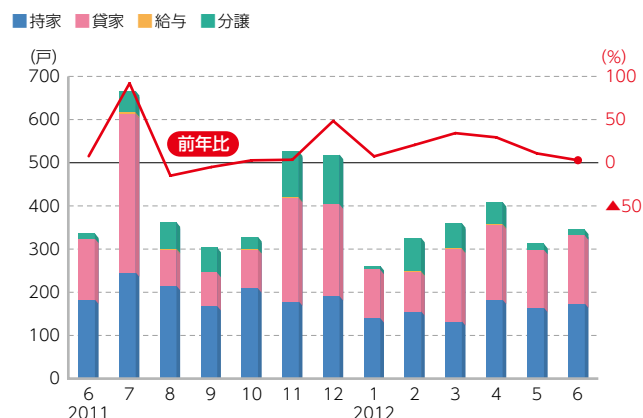
3.住宅建設 | 9ヵ月連続で前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、345戸と前年同月比2.7%増加し、9ヵ月連続で前年を上回りました。

「持家」は前年を下回ったものの、「分譲」が前年並みとなった他、アパート等の「貸家」は前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



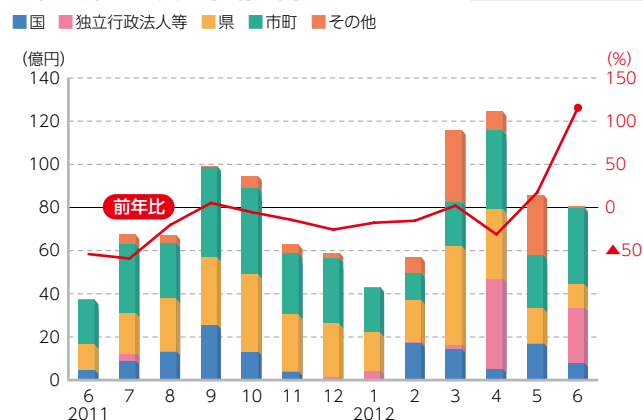
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比9.3%増の200件、金額は同115.4%増の80億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、病院等の大型案件があった「独立行政法人等」や、学校増改築等の案件が多かった「市町」が前年比増加しました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比25%増の5件、負債総額は同48.5%減の約7億円となりました。

建設業で1億円超の倒産が2件発生した他は、大型倒産の発生はなく、負債総額は前年を下回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

